

「十二指腸チューブを早期に使用した超早産児の長期呼吸予後：RCT 二次解析」 に関するお知らせ

このたび、大阪母子医療センターで診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

研究の概要について

1. 研究の目的

新生児慢性肺疾患は、早産児における重篤な呼吸器合併症の一つであり、いまだ有効な治療法は確立されていません。新生児慢性肺疾患の重症化因子の一つとして、母乳またはミルクの誤嚥が考えられています。私たちはこれまで人工換気を実施中の早産児に対して、十二指腸チューブによるミルク注入が、安全に使用でき呼吸に関連した有害事象を回避することを臨床試験で示しました。

本研究では、この臨床試験に登録された患者さんが8歳時に実施した呼吸機能検査の結果を用いて、十二指腸チューブによるミルク注入が、患者さんの呼吸機能を改善するか否かを検証します。

2. 研究期間

病院長の許可後～2027年12月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦（研究代表者）
- ・大阪母子医療センター 新生児科 平田 克弥

2. 情報の管理責任者

＜提供先機関＞ 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文
＜提供元機関＞ 大阪母子医療センター

3. 情報の提供方法等について

- ・パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。

お問い合わせについて

埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波文彦

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981

電話：049-228-3622（水土日祝日を除く8:30～17:30）

メールアドレス：nambaf “AT” saitama-med.ac.jp (“AT” を@に置き換えてください）

○研究課題名：十二指腸チューブを早期に使用した超早産児の長期呼吸予後：RCT 二次解析
○研究代表者：埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦